

第5期決算公告

平成26年6月16日

東京都港区芝二丁目29番14号
株式会社 長谷工リフォーム
代表取締役 鹿倉 克幸

貸借対照表(平成26年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	9,019,041	流動負債	6,529,445
現金預金	2,017,995	工事未払金	4,898,978
受取手形	16,118	営業未払金	1,201
完成工事未収入金	6,017,303	未払金	17,519
営業未収入金	12,527	未払費用	267,114
未成工事支出金	752,931	リース債務	12,554
貯蔵品	115	未成工事受入金	622,030
前払費用	62,324	連結法人税等未払金	213,854
未収入金	4,681	未払法人税等	86,569
立替金	843	未払事業所税	5,345
繰延税金資産	160,000	未払消費税等	17,130
貸倒引当金	△ 25,796	預り金	17,420
		賞与引当金	99,014
		完成工事補償引当金	270,716
		固定負債	1,438,505
固定資産	178,746	長期借入金	1,400,000
有形固定資産	61,306	リース債務	21,023
建物	25,025	入室保証金	17,482
工具器具備品	6,673		
リース資産	29,608	負債合計	7,967,950
無形固定資産	8,725	純資産の部	
ソフトウェア	8,725	株主資本	1,229,837
投資その他の資産	108,715	資本金	300,000
差入敷金保証金	81,896	資本剰余金	235,573
前払年金費用	12,819	資本準備金	75,000
長期繰延税金資産	14,000	その他資本剰余金	160,573
		利益剰余金	694,264
		その他利益剰余金	694,264
		繰越利益剰余金	694,264
		(当期純利益)	(378,261)
		純資産合計	1,229,837
資産合計	9,197,787	負債及び純資産合計	9,197,787

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
未成工事支出金
個別法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）
定率法（ただし、建物（附属設備を除く）については定額法）によっております。
 - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）
定額法によっております。
なお、ソフトウェア（自社利用）については社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
 - (3) リース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。
3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金
売掛債権、その他これに準ずる債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
 - (3) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
会計基準変更時差異は15年による均等額を費用処理しております。
過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間による定額法により費用処理しております。
数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間による定額法により、按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理をすることとしております。
 - (4) 完成工事補償引当金
当社の請負う修繕工事について、竣工後の一定時期に補修箇所の有無を点検することを約定しており、これらの将来発生する点検費用に備えることを目的として、過去の点検費用の実績単価に基づき計上しております。
4. 収益及び費用の計上基準
請負工事の収益計上基準について、請負金額1億円以上の請負工事については工事進行基準により、その他の請負工事については、工事完成基準によっております。
5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 消費税等の会計処理方法
消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。
 - (2) 連結納税制度の適用
連結納税制度を適用しております。